199
2026.10.06

結いだより

「いい会社」訪問記
伊那谷とともに歩む KOA



鎌倉投信の本棚
「日本でいちばん大切にしたい会社」

「結い 2101」運用報告会（2026年秋）募集開始のお知らせ
受益者総会ご参加の御礼と収録動画公開時期のお知らせ

※P8の注意事項を必ずご確認ください。

鎌倉投信
KAMAKURA TOUSHIN

REPORT 「いい会社」訪問記

伊那谷とともに歩むKOA



筆者 長田 資産運用部/ファンドマネージャー

鎌倉投信にとって、長野県は不思議な土地柄です。というのも、投資先の「いい会社」72社（2026年8月末時点）のうち5社が長野県に本社を構えており、東京都、京都府に次いで多いからです。なぜ長野県には「いい会社」が多いのでしょうか。人財に恵まれているからなのか、豊かな自然があるからなのか。それとも、長い歴史の中で培われた地域の文化や風土に理由があるのか。さまざまな意見を交わしながら、社長の鎌田とともに向かった先が、投資先であるKOAの本社です。

KOAの本社があるのは、長野県上伊那郡。東京から200kmほどの距離ですが車で3時間以上かかり、お世辞にも交通の便がよいとはいえません。それでも、KOAにとって伊那谷は創業以来、地域とともに歩んできた、切っても切り離せない特別な存在です。今回、2025年に社長に就任した創業者の孫にあたる向山浩正社長、百瀬副社長、経営戦略部門の社員の方々との対話の機会に恵まれました。対話の内容は、社長のお人柄やこれまでの苦労話、経営哲学など多岐にわたりましたが、その中でも強く感じたのが、KOAと伊那谷との深いつながり、そしてその土地だからこそ育まれてきた企業風土や経営姿勢です。KOAのこれまでの歩みを振り返りながら、創業のビジョンや地域への想いが、どのように現在へ受け継がれているのかをご紹介します。

創業のビジョン「伊那谷に太陽を」

長野県南部に位置する伊那谷は、かつて養蚕が盛んな地域でした。ところが、1929年の世界恐慌の影響により生糸価格が暴落し、農家に大きなダメージを残しました。そこで、KOAの創業者である向山一人氏は、19歳の時、「貧しい農村を何とかしたい」という志を抱いて上京し、電気技術を学びました。そしてその8年後、「これから電気の時代が来る」という確信のもと、どんな電気製品にも使われる電子部品に着目し、1940年に抵抗器（電流や電圧を制限・調整する電子部品）の工場を創業しました。これが現在のKOAの原点です。若き向山社長は、ここから農村の暮らしを守りながら、工業によって豊かな暮らしを伊那谷につくる「農工一体」を目指したのでした。

最大の危機をのりこえて

KOAにとって最大の危機は、1985年のプラザ合意後の円高不況でした。抵抗器の輸出で業績を伸ばしていたKOAは大打撃を受け、3年連続赤字と苦況に陥りました。2代目社長の向山孝一氏（現社長の父）は、会社を守るためには余剰人員をリストラしてもやむを得ないと悩んでいました。

ところが、創業者である向山一人氏から、「人員整理をするということは、今の状況になったのは社員の責任ということになる。まだ社長としてやるべきことをやっていない。一人だって社員は辞めさせない」と反対を受けたのでした。創業者の強い覚悟を受けて、孝一氏はKOAがなぜ誕生したのかを改めて見つめ直しました。そして、このことが「誰にとって価値ある会社であるべきなのか」を考えるきっかけとなり、後述するKOAにとって大切な利害関係者「5つの主体」の明確化につながります。実に、2020年にダボス会議でステークホルダー資本主義が提唱される30年以上も前のことでした。危機を乗り越えるために、1987年にKOAが始めたのがKPS活動です。KPSとは「KOA Profit System」の略で、生産現場でのムダの見直しやリードタイム（製造開始から出荷までの時間）の短縮、在庫の削減などを目指す、全員参加の改善活動です。現在まで40年近く継続しています。

あわせて、一時的に内需産業へのシフトを図るため、健康・教育・環境事業も始めたそうです。対話に同席された百瀬副社長（1985年入社）は、入社してすぐの頃、教育事業として地域向けの塾を運営していたこともあったそうです。円高不況から3年で営業黒字に回帰し、危機を乗り切ったKOAは、地域雇用を維持しながら成長してきました。現在では、世界の固定抵抗器市場でトップクラスのシェアを誇る電子部品メーカーとして大きく飛躍しています。

KOAを支える5つの主体



「5つの主体」とは、向山孝一氏が円高不況の危機の中で定めた、KOAにとって大切な利害関係者（ステークホルダー）のことで、①株主、②お客様、③社員・家族、④地域社会、そして⑤地球です。④と⑤が特にKOAらしいのではないでしょうか。

対話の中で、私がKOAらしさや創業の理念が受け継がれていることをとりわけ強く感じたのは、向山浩正社長が、「KOAを支える5つの主体について、株主総会ではそれぞれ均等に時間を割いて話したい」と話されたことでした。
地域社会である伊那谷から、企業が人財や資源を借りている。だからこそ、KOAと伊那谷は運命共同体であり、同じように、企業は地球によって生かされている存在であるから、地域社会も地球もKOAにとって重要なのです。

株主からすると、短期の業績や株主還元が大きな関心事になりがちですが、それらを重視しすぎると、他の4つの主体のいずれかが犠牲になるかもしれません。KOAにとって5つの主体はいずれも重要であり、そのバランスをとった経営をおこなうことが、目指す方向性なのだと感じました。株主総会は一般的には業績や株主還元、今後の戦略が説明の中心になりますが、祖父、父の想いを受け継いだ向山浩正社長には、5つの主体に均等に時間を使う株主総会を、ぜひ実現してほしいと思います。

地域との強いつながりが生み出す価値

伊那谷に本社を置くことで、KOAは地域の雇用創出に貢献しています。しかも、効率性よりも社員の働きやすさを優先し、敢えて工場を伊那谷の各地域に分散させているのがKOAらしいところです。面談に同席された経営戦略部門の社員からは、「こうして地域での雇用を守り続けることで地域に技術やノウハウが蓄積され、場合によっては親子三代にわたって技能が受け継がれるケースもある」と、お話をいただきました。「いつか自分の子どもや孫が働きたいと思える会社にしたい」。地域に根付いているからこそ、その想いは強くなり、社員の大きな原動力になるのでしょう。
信州伊那谷の農家のために設立された経緯を大切にし、地域に根付いてノウハウや技術を蓄積していることこそが、KOAの強さ、そして魅力になっていることを再確認した訪問でした。



創業者
向山 一人 氏



2代目社長
向山 孝一 氏



現職
向山 浩正 社長

ふるさと伊那谷を豊かにするために強い想いでKOAを立ち上げた向山一人氏。円高不況という最大の危機を知恵と工夫で乗り越え、KOAは誰にとっての会社であるべきかを明確にした向山孝一氏。そして、これまでのKOAの歴史と地域への想いを受け継いだ向山浩正社長。これからのKOAには「5つの主体」と関係性をさらに強くし、伊那谷だけではなく、世界に不可欠な企業となることを期待しています。

KOA株式会社
投資テーマ「共生」
地球のことを真剣に考える、いい会社

投資理由は
こちら

COLUMN

伊那食品工業の年輪経営

今回の伊那谷出張では、投資先ではありませんが、伊那食品工業の塚越寛最高顧問のお別れ会に参列し、最高顧問を偲ぶさまざまな展示を見てきました。「かんてんぱぱ」ブランドで知られる寒天メーカーである同社は、鎌倉投信にとって特別な存在です。「結い 2101」で掲げる投資先の「いい会社」は、実は伊那食品工業の経営理念である「いい会社をつくりましょう。～たくましく そして やさしく～」に由来していて、会社経営のあり方についても数多くの視座をいただきました。

故塚越最高顧問が掲げた経営哲学が「年輪経営」です。木の年輪が毎年一つずつ増えて幹が太くなるように、企業も無理をせず、ゆっくりと堅実に成長していくことを目指したものです。2005年に寒天ブームがありましたが、著書の中で「ブームというのは、最大の不幸」と語られています。ブームを受けて無理に増産した結果、業績は伸びましたが、翌年には売上が減少に転じました。それまで48年間にわたり増収増益を続けてきただけに、この経験を



通じて、身の丈に合わない急成長ではなく、年輪のように少しずつ確実に成長していくことの大切さを再認識したそうです。

無理な急成長ではなく、着実に歩みを進める「年輪経営」。その真意は、塚越最高顧問が生涯貫いてこられた「会社は縁ある人を幸せにするためにある」という一念にあります。社員総出であたたかく参列者を出迎える姿、社員によって見事なまでに手入れされた庭園、「塚越さんは、私のような者まで気を配ってくれた」と語る地元のタクシードライバー・・・そうした姿から、塚越名誉顧問の想いが多くの人に伝わっていると感じると同時に、いつの時代においても、会社が何よりも大切にしなくてはならないことを学ばせていただきました。（資産運用部　長田）

鎌倉投信の本棚

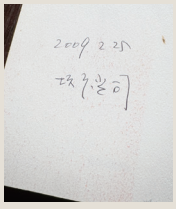
本コラムでは、鎌倉投信の本棚から気になる一冊や、役職員おすすめの書籍を取り上げて紹介します。

日本でいちばん大切にしたい会社

本の紹介者　鎌倉投信 投信企画部　**齋藤**



今回、この記事シリーズを始めるにあたり、最初の一冊に何を取り上げようかと鎌倉本社の本棚を眺めていると、ある本が目に留まりました。**『日本でいちばん大切にしたい会社』**（あさ出版・坂本光司著）です。第1巻が刊行されたのは2008年。その後シリーズを重ね、第9巻まで刊行されています。表紙を開くと、そこには「2009.2.25 坂本光司」というサインが残っています。「結い 2101」の運用が始まったのは2010年3月。その、およそ一年前です。「結い 2101」が生まれようとしていた頃に、**「これからの日本に必要とされる会社とは、どんな会社なのか」**そんなことを考えていた創業メンバーにとって、この本が大きなヒントになったことが想像できます。



読み進めると、「会社経営とは『5人に対する使命と責任』を果たすための活動」という章が、とりわけ目をひきます。そこには、会社が果たすべき使命として、次の5つが挙げられています。

一. 社員とその家族を幸せにする
二. 外注先、下請け企業の社員を幸せにする
三. 顧客を幸せにする
四. 地域社会を幸せにし、活性化させる
五. 自然に生まれる株主の幸せ

興味深いのは、その内容だけではなく、この「順番」です。企業経営というと、ともすれば売上や利益、株主への還元といった数字から語られがちです。しかし本書では、会社を支える人たちの幸せを出発点として経営を考えます。この考え方は、鎌倉投信が考える「いい会社」の定義とも通ずるものがあります。

鎌倉の本棚に残る、2009年の日付が記された一冊のページをめくりながら、鎌倉投信が創業期から考えてきた「いい会社」の原点に、少し触れたような気がしました。気になった方は、ぜひ一度手に取ってみてください。

「結い 2101」運用報告会のご案内

（2026年秋期）

「結い 2101」運用報告会を、10月～ 12月に全国6都市とオンラインで開催します。運用報告会では、半期に一度、受益者とそのご家族の皆様に向けて、鎌倉投信の投資哲学や最新の運用状況、投資先の「いい会社」の近況等をわかりやすくご報告します。一部の会場開催では、自由参加の交流会も実施予定です。鎌倉投信の役職員と直接お話しいただけることに加えて、受益者同士が想いや考えを共有できる貴重な機会です。「結い 2101」が大切にしている一貫した投資姿勢や、投資先の「いい会社」の歩みが、どのように心豊かな社会づくりに繋がっていくのか、皆様との対話を通して確かめる時間になればと思います。ぜひご参加ください。

神奈川
10/31（土） 午前と午後の運用報告は同じ内容です
午前の部 10:30 ～ 12:30
午後の部 13:30 ～ 15:30　交流会 15:45 ～ 17:00
＜会場＞鎌倉投信株式会社 本社屋（鎌倉市）

愛知
11/7（土） 14:00 ～ 16:00　交流会 なし
＜会場＞ウインクあいち（名古屋市）

東京
11/8（日） 13:00 ～ 15:00　交流会 15:15 ～ 16:15
＜会場＞FinGATE KAYABA（中央区）

大阪
11/14（土） 14:00 ～ 16:00　交流会 16:15 ～ 17:15
＜会場＞ドーンセンター（大阪市）

福岡
11/15（日） 13:00 ～ 15:00　交流会 なし
＜会場＞電気ビル共創館（福岡市）

札幌
11/21（土） 14:00 ～ 16:00　交流会 なし
＜会場＞札幌エルプラザ（札幌市）

オンライン
12/5（日） 10:30 ～ 12:00
＜会場＞Zoom ウェビナー



申込方法

鎌倉投信で「結い 2101」をご購入のお客様

・ホームページ「セミナー・イベント」より こちら、

・お電話でお申込 050-3536-3300（営業時間：平日 10 時～ 16 時）

楽天証券で「結い 2101」をご購入のお客様

楽天証券で「結い 2101」を購入している方向けのコミュニケーションサイト「結いの窓」から受益者登録の上、専用のイベントページから申込ください。※URLが分からない方は、鎌倉投信へお問合せください。

「結い 2101」運用報告　資産形成

2026年9月の日本株式市場

※1 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）　※2 東証株価指数（TOPIX）Small（配当込み）

9月の日本株市場は小幅に下落しました。月前半は、中東情勢の緊迫化による原油高や世界的な長期金利の上昇に加え、為替の円高転換による企業業績に対する警戒感から軟調に推移しました。月後半は、生成AI（人工知能）開発投資の減速懸念から下落する局面もありましたが、日銀の今後の利上げペースに対する過度な警戒感が後退したことや、円高および原油高の一服を受け、月末にかけては持ち直す動きとなりました。配当込みTOPIX※1は前月末比で0.3%、配当込みTOPIX Small※2は同0.1%、それぞれ下落しました。業種別では、石油・石炭製品、情報・通信業、銀行業が上昇した一方、鉱業、その他製品、水産・農林業などが下落しました。

2026年9月の「結い 2101」

「結い 2101」の9月末の基準価額は前月末比で0.9%下落し、27,819円となりました。TOB（株式公開買付）の発表があった「かどや製油」や、投資ファンドから買収提案を受けたとの報道があった「小林製薬」などが上昇しました。一方で、前月までの短期間での株価上昇の反動から「シマノ」や「サイボウズ」などが下落しました。9月末時点の投資先数は、新規組入がなかった一方で、1社全売却をおこなったことから、前月末から1社減少し、71社となりました。全売却した先は、MBO（経営陣による企業買収）を目的としたTOBが成立し、上場を廃止する見通しとなったデジタルハーツホールディングスです。公開買付価格や付随する条項等を総合的に勘案し、株式公開買付に応じることとしました。9月末時点の株式組入比率は、投資先企業の株価下落により前月末から小幅に下落し、83.1%となりました。債券組入比率は前月末と変わらず1.4%です。



長田 陽平
資産運用部
ファンドマネージャー
2013年総合リース会社に入社。資金調達や決算業務を経験した後、プロジェクトファイナンス等のフロント業務に携わる。2020年10月に鎌倉投信に入社。東京生まれ、千葉育ち。

「結い 2101」運用状況（月次） 基準日：2026年9月末日

運用方針

「結い 2101」は、投資家の長期的な資産形成と社会の持続的発展に貢献するために、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内を中心に、社会との調和の上に発展する次のような企業の株式に投資することにより運用をおこなうことを基本とします。

これからの日本に必要とされる企業

顧客・消費者、社員とその家族、取引先、地域、自然・環境、株主等を大切にし、持続的で豊かな社会を醸成できる企業

このような企業を投資先の「いい会社」として選定するため、次のように「人・共生・匠」というテーマで評価しています。

- 人：**優れた企業文化を持ち、人財を活かす企業**
- 共生：**循環型社会を創る企業**
- 匠：**日本の匠な技術、感動的なサービスを提供する企業**

概況

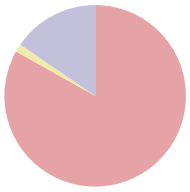
基準価額
27,819円

純資産総額
56,986百万円

顧客数
22,106人
うち「積立購入」を選択されている顧客数**10,925人**

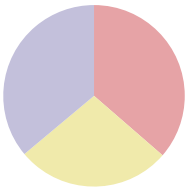
信託財産の状況（比率は時価ベース）

ポートフォリオの資産構成比



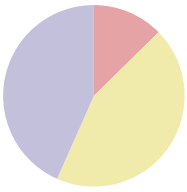
- 株式 83.1%（67社）
- 債券 1.4%（4社）
- キャッシュ等 15.5%

投資先のテーマ別構成比



- 人 36.4%（25社）
- 共生 27.5%（22社）
- 匠 36.1%（24社）

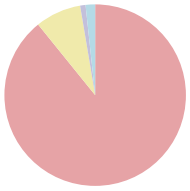
株式の規模別構成比



- 大型株 12.6%
- 中型株 44.0%
- 小型株 43.4%

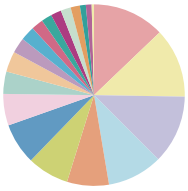
株式の内、時価総額5,000億円以上の銘柄を大型株、時価総額1,000億円以上の銘柄を中型株、時価総額が1,000億円未満の銘柄を小型株としています。

有価証券の市場別構成比



- 東証プライム 89.2%
- 東証スタンダード 8.2%
- 東証グロース 1.0%
- 非上場 1.7%

投資先の業種別構成比



- 機械 12.9%
- 電気機器 12.4%
- 化学 12.2%
- サービス業 9.9%
- 小売業 7.5%
- 精密機器 7.4%
- その他製品 7.4%
- 食料品 5.6%
- 卸売業 4.0%
- 輸送用機器 3.7%
- 保険業 2.7%
- 情報・通信業 2.6%
- 金属製品 2.1%
- 医薬品 1.9%
- 建設業 1.9%
- ガラス・土石製品 1.8%
- 水産・農林業 1.6%
- パルプ・紙 1.1%
- 陸運業 1.0%
- 繊維製品 0.4%

開示基準に達した新規投資先 現在、未開示の投資先はありません。

組入上位10銘柄

コード	会社名	テーマ	純資産総額比	鎌倉投信の視点
7366	LITALICO	共生	1.9%	障碍のない社会をつくる、いい会社
6258	平田機工	共生	1.9%	世界中の生産ラインを支え地域雇用を大切にする、いい会社
4967	小林製薬	人	1.8%	モチベーションが高く、発想力が具現化する、いい会社
3176	三洋貿易	人	1.8%	自由闊達な社風のもと、顧客の最適解を提供する、いい会社
7947	エフピコ	人	1.8%	障碍者がメインストリームで働く、いい会社
7839	SHOEI	人	1.8%	契約社員がやる気を出せる、いい会社
3097	物語コーポレーション	人	1.8%	自分物語をつむぎ、世の中をイキイキさせる、いい会社
7956	ピジョン	人	1.8%	「愛」を経営理念に掲げる、いい会社
3182	オイシックス	共生	1.8%	安心・安全な食品を提供する、いい会社
7931	未来工業	人	1.7%	社員一人ひとりが、「常に考える」、いい会社

収益分配金の実績

第4期	2013年7月19日	500円
…	…	…
第15期	2024年7月19日	0円
第16期	2025年7月22日	0円
第17期	2026年7月21日	0円

設定来合計 500円

- ✓分配金額は1万口あたりの金額です。
- ✓分配金は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。
- ✓「結い 2101」は分配金相当額を自動的に分配後の基準価額で再投資する分配再投資専用の投資信託です。

設定日：2010年3月29日	信託期間：無期限	決算日：毎年7月19日（休業日の場合は翌営業日）

運用目標

リターン目標（信託報酬控除後）

長期的に投資先企業の業績成長に見合ったリターンの獲得を目指す

参考情報 **投資先企業の業績成長率**
年率4.8%～7.1%

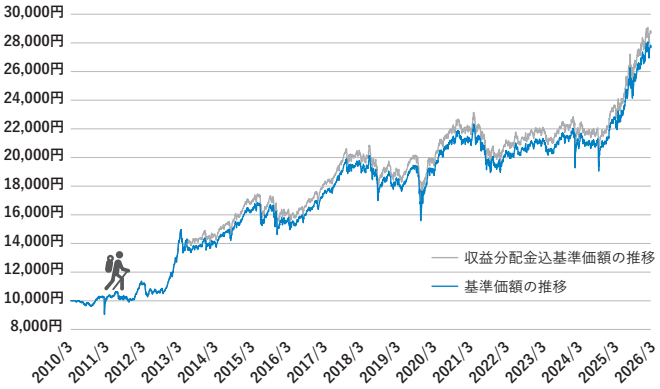
リスク目標

国内株式市場よりも基準価額の変動リスクを抑制し、下落時の不安を軽減する運用を目指す

✓運用目標は、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。
✓2010年3月29日から2025年4月30日までは、リターン（信託報酬控除後）4%以上・リスク10%以内を目標としていました。
✓「投資先企業の業績成長率」とは、投資先の上場企業全体のファンド保有分に対する会計上の純資産および配当の合計額の1年間の増加率（増資は除く）の過去5年月次移動平均のうち、過去5年間における最大値及び最小値から信託報酬率を考慮してそのレンジを示しています。

運用パフォーマンス

基準価額の推移



✓「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、「結い2101」の信託報酬率1.10%（年率・税込）を控除後のものです。
✓「基準価額の推移」や「収益分配金込基準価額の推移」は、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
✓「収益分配金込基準価額」とは、収益分配を実施しなかった（＝収益分配金を非課税で口数を増やさず再投資した）ものとして計算した基準価額に相当する値で、当社が算出しています。

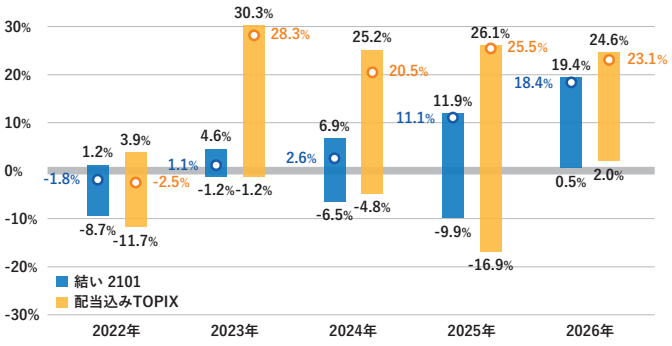
運用成績

	設定来	10年	5年	3年	1年	1ヵ月
リターン（累積）	188.3%	75.9%	28.4%	32.9%	23.5%	-0.9%

	設定来	10年	5年	3年
リターン（年率）	6.6%	5.8%	5.1%	9.9%
リスク（年率）	8.7%	8.5%	8.4%	8.8%
リターン÷リスク	0.76	0.68	0.61	1.13

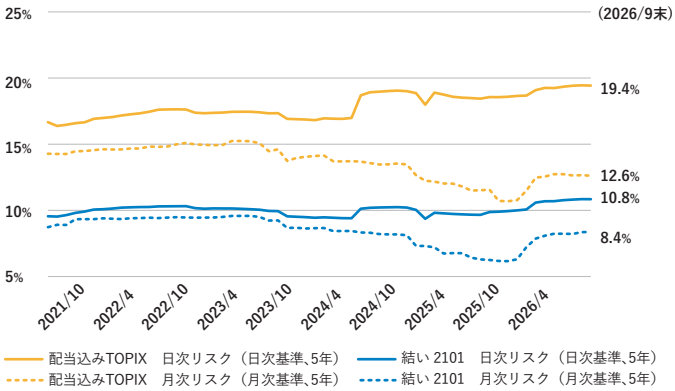
✓リターン・リスクは、支払済み収益分配金（税引前）を再投資した場合の分配金込の数値です。お客様毎の実際の運用成績とは異なります。
✓リターン（年率）とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の収益率を年率換算で表示したものです。
✓リスク（年率）とは、直近3年間、5年間、10年間および設定来の収益分配金込基準価額の月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。
✓「リターン÷リスク」は、運用の効率性を測る指標として表示しています。

各年の収益率



✓「結い2101」は特定の市場指数をベンチマークとした運用ではありませんが、「結い2101」と国内株式市場の値動きやその変動幅の違いなどをご理解いただくため、参考として配当込みTOPIX（以下；TOPIX）の収益率を掲載しています。
✓青色の棒グラフは、各年内の収益分配金込基準価額の最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末の基準価額を、各前年末の基準価額と比較した場合の収益率を表しています。
✓黄色の棒グラフは、各年内のTOPIXの最大値（年初来高値、日次ベース）、最小値（年初来安値、日次ベース）、および各年末のTOPIXを、各前年末のTOPIXと比較した場合の収益率を表しています。

実績リスク（年率）の推移



✓リスクは、収益率のブレの大きさを示した指標であり、標準偏差によって計測しています。標準偏差が大きいほど、収益率のブレ幅が大きい（リスクが高い）ことを意味します。
✓日次リスク、月次リスクは過去5年間の日次収益率、月次収益率の標準偏差を年率換算で表示したものです。日次リスクと月次リスクの値は乖離することがありま
✓す。
「実績リスクの推移」および「各年の収益率」に関する詳しい説明は、結いだより187号（2025年10月発行）をご確認ください。

第17回「結い 2101」受益者総会

ご参加の御礼と収録動画公開時期のお知らせ

2026年10月4日（日）、横浜港大さん橋ホールにて第17回「結い 2101」受益者総会を開催しました。当日は700名を超える皆様にお申込みいただき、会場は一日を通して笑顔と活気にあふれていました。ご参加くださった受益者の皆さま、ご登壇・ご出展いただいた投資先企業の皆さま、そして運営を支えてくださったボランティアスタッフの皆さまに心より御礼申し上げます。

「投資のその先へ」をテーマに

今年は「投資のその先へ〜『いい会社』と考える、これからの豊かさ〜」をテーマに掲げました。紛争や物価の上昇、AIの急速な進化など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく揺れ動く時代だからこそ、企業は何のために存在するのか、投資にはどんな未来を拓く力があるのかを、皆さまと一緒に問い直したい。そんな想いをこのテーマに込めて、開催しました。講演やトークセッション、企業展示を通じて、皆さま一人ひとりが「自分にとっての豊かさ」を見つめ直すきっかけとなれば幸いです。

収録動画を10月下旬までに公開します

都合によりご来場いただけなかった方や、当日の内容をもう一度振り返りたい方に向けて、収録動画を10月下旬までに公開します（一部掲載しないパートもあります。）動画は、受益者専用サイトにてご覧いただける予定です。
公開の際は、当社ホームページ・公式SNS等でご案内します。ご家族やご友人とご一緒に、ぜひご覧ください。

おわりに

受益者の皆さまと「いい会社」、そして私たち鎌倉投信が顔を合わせ、同じ時間を分かち合える受益者総会は、「結い 2101」という名前に込めた想いを何より実感できる場です。また来年、受益者総会の会場で、皆さまと笑顔でお会いできることを役職員一同、心より楽しみにしています。

NISAトピックス

NISA金融機関変更の受付開始など

10月1日から、来年（2027年）の**NISA口座を設ける金融機関を変更する手続きの受付が始まりました。**2027年の非課税投資枠を一部でも使用した場合、2027年中の金融機関変更はできなくなりますので、検討中の方はお早めに手続きください。NISA金融機関変更の詳しい手続き方法や、**2022年に購入した一般NISA・ジュニアNISA残高の非課税期間終了についてのご案内**はこちらでご確認ください。

直販口座向け

受益者専用サイト「My鎌倉倶楽部」のご案内

My鎌倉倶楽部では、残高照会や各種お手続きができます。また、受益者総会や運用報告会など、イベントの限定動画の視聴も！登録は鎌倉投信ホームページからお願いします。

直販口座「積立サービス」取引スケジュール

金額変更・中止締切日※1	引落日※2	入金日※3	約定日※4	受渡日※5
10月10日	10月27日	11月4日	11月5日	11月6日

※1 毎月10日（休日の場合は前営業日）：この日に受付した分までが当月引落より適用されます。締切日を過ぎますと、当月の引落および引落資金での投資信託購入がおこなわれます。解約（換金）を希望される方は、受渡日以後に残高の解約（換金）をしてください。
※2 毎月27日（休日の場合は翌営業日）：お客様が指定した金融機関の口座から購入額を引き落とします。
※3 引落日の5営業日後：収納代行会社を通して購入額が当社に入金されます。
※4 引落日の6営業日後：この日の基準価格で購入します。
※5 引落日の7営業日後：この日に取引報告書を交付します。

本資料は、鎌倉投信によって作成された、投資家向けの情報提供を目的としたもので、投資信託販売用資料ではありません。

＜資産運用に関する注意事項＞投資信託のお申し込みに際しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願いします。

◆投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象にはなりません。また、「結い 2101」を証券会社を通じて購入していない場合は、投資者保護基金の保護対象でもありません。
◆投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
◆「結い2101」は、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当投資信託の基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て「結い 2101」の投資者（受益者）の皆さまに帰属します。したがって、投資者（受益者）の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
◆「結い2101」は信託財産留保額はありません。運用管理費用（信託報酬）は、純資産総額に対して1.1%（税込・年）です。
購入時手数料やその他費用の詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をお読みください。
◆本資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。
◆本資料に記載の内容は、将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものでは ありません。
また、本資料は、鎌倉投信が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料の利用権は、鎌倉投信に帰属します。
◆「結い2101」のご購入は、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご理解いただいた上、ご自身でご判断ください。ご不明な点は販売会社にお問い合わせください。

＜苦情処理措置および紛争解決措置について＞
鎌倉投信は加入協会から苦情の解決および紛争の解決のあっせん等の委託を受けた特定非営利活動法人　証券・金融商品あっせん相談センター(連絡先：0120-64-5005)を利用することにより金融商品取引業等業務関連の苦情および紛争の解決を図ります。

鎌倉投信株式会社：金融商品取引業者　登録番号　関東財務局長（金商）第2293号
加入協会 ：一般社団法人 資産運用業協会　一般社団法人 第二種金融商品取引業協会